

■算数の授業づくりについて考えよう

「岡山型学習指導のスタンダード」に基づく算数の授業づくり



岡山県教育委員会では、算数の授業づくりの視点を整理し、特に指導経験の少ない先生方が算数の授業づくりを進める際に留意していただくポイントを「授業5」に基づいてまとめています。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策により、全国学力学習状況調査が中止となりましたが、岡山県では従前から「量と測定」や「数量関係」の割合などが課題となっており、低学年段階からの系統的な指導の充実を図る必要があります。

学校全体で組織的・系統的な指導に取り組むに当たって、本資料をご活用いただき、児童の確かな学びを考えてください。

▼リンク

「算数の授業づくり はじめの一步」（教育庁義務教育課）

<https://www.pref.okayama.jp/site/16/547134.html>

■休校中の家庭学習について考えよう

「家庭学習のスタンダード」

「子どもが伸びる家庭学習」

「家庭学習指導のすすめ」



岡山県教育委員会では、家庭学習の充実と、学校と家庭とが連携し、子どもたちの学習習慣づくりに取り組むため、4つの視点を軸として「家庭学習のスタンダード」や、「子どもが伸びる家庭学習」、「家庭学習指導のすすめ」をまとめています。

現在、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、県内でも多くの学校が休校となっており、若手教員の中には、家庭学習の取組に困難を感じている人もいますが、岡山県の小中学校現場には、先輩教員が築き上げてきた家庭学習の財産があります。

それは、「自主学習」の実践です。

校内の先輩教員から自主学習の実践を学び、本資料も活用しながら、自分の学級でも自主学習の取組を進めてほしいと思います。

なお、その際、教科書をしっかり活用したり、「NHK for School」を視聴したりすることも効果的です。

▼リンク

家庭学習のスタンダード（教育庁義務教育課）

https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/616896_5208236_misc.pdf

子どもが伸びる家庭学習（教育庁義務教育課）

https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/616896_5208237_misc.pdf

家庭学習指導のすすめ（教育庁義務教育課）

https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/616896_5208239_misc.pdf

■新学習指導要領の趣旨を理解しよう

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり」



平成29年3月に公示された新学習指導要領は、小学校では令和2年度(2020年度)から、中学校では令和3年度(2021年度)から全面実施となります。

今回の改訂では、「生きる力」を子供たちに育むために、全ての教科等の目標及び内容が資質・能力の三つの柱(「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)で再整理されました。

本冊子は、小学校・中学校の全ての教科等の改訂の趣旨及び要点と授業づくりのポイントを一冊にまとめています。子供たちの発達段階や学習の系統性を意識した9年間の学びを見通した授業づくりに役立ててください。

「何のために学ぶのか」という各教科等を学ぶ意義を共有しながら、子供たちに確かな学力を身に付けさせる授業を共に作りあげていきましょう。

▼リンク

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり」(岡山県総合教育センター)

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/274908.pdf>

■授業を行うための基礎・基本

岡山型学習指導のスタンダード



日々の授業の中で、こんな疑問を持っていませんか？

「目標」と「タイトル」はどう違うの？

「まとめ」と「振り返り」ってどう違うの？

『岡山型学習指導のスタンダード』では、先生方の疑問に答える形でポイントを示し、授業を行うための基礎・基本を「授業5(ファイブ)」としてまとめています。

教科、学年、学習内容等により、それぞれの授業は異なりますが、基礎・基本となる点は同じです。日々の授業づくりにおいて大切なことを確認し、確かな学力を身に付けさせる授業を共につくりあげていきましょう。

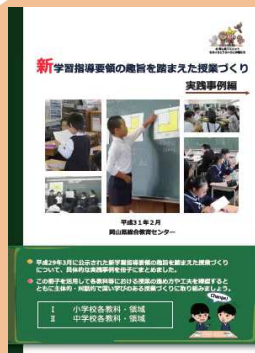
▼リンク

「岡山型学習指導のスタンダード」(教育庁義務教育課)

https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/616895_5208232_misc.pdf

■主体的・対話的で深い学び

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり 実践事例集」



新学習指導要領では、児童生徒の資質・能力を育成するために「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。

本冊子は、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、小学校・中学校の全ての教科等で行った授業実践の事例を一冊にまとめています。掲載事例は、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を支える教師の手だてのイメージを読者がもちやすくするために、1単位時間において、三つの学びを支える教師の手だてが見られたもので統一されています。その際、最も効果的な手だてを精選し、紹介しています。

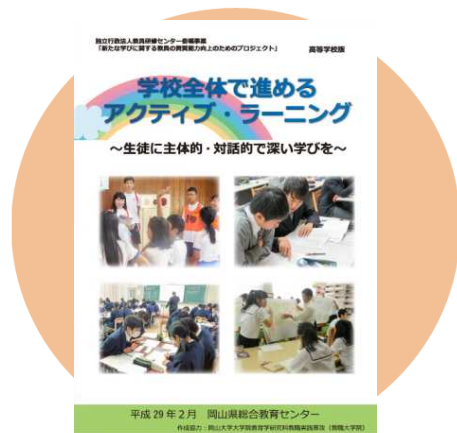
児童・生徒の学びの質を高める授業づくりに役立ててください。

▼リンク

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり 実践事例集」（岡山県総合教育センター）
<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/274898.pdf>

■ 高等学校における主体的・対話的で深い学び

「学校全体で進めるアクティブ・ラーニング ～生徒に主体的・対話的で深い学びを～」



新しい時代に必要となる資質・能力を生徒に身に付けさせるためには、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が大切です。

本リーフレットでは、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の三つの視点を、高等学校における実践事例と併せて紹介しています。また、「グループ学習を取り入れたら『対話的な学び』になるのだろうか？」といった疑問等に答える形にもなっています。

是非、学習の質を高める授業づくりに役立ててください。

▼リンク

「学校全体で進めるアクティブ・ラーニング～生徒に主体的・対話的で深い学びを～」(岡山県総合教育センター)
https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/750682_6891789_misc.pdf

■探究を取り入れた理科の授業づくり

「中学校・高等学校理科指導資料 全ての生徒に探究を！
探究するために必要な資質・能力を育む理科の授業づくり」



これからの社会において、「探究」は重要なキーワードです。新学習指導要領では、理科で育成を目指す資質・能力を育成する観点から、科学的に探究する活動をより重視しています。

探究的な理科の授業においては、どのような資質・能力の育成を目指すかを明確にした上で、単元の構想や工夫・手だてを考え、意図的に行うことが大切です。本冊子では、全国学力・学習状況調査結果から見える岡山県の課題を踏まえ、「観察・実験の実施」の前後の学習過程にあたる「仮説の設定」「検証計画の立案」「結果の処理」「考察・推論」の学習過程を重視した実践事例を紹介しています。

探究を取り入れた理科の授業づくりについて一緒に考えましょう！



▼リンク

「中学校・高等学校理科指導資料 全ての生徒に探究を！ 探究するために必要な資質・能力を育む理科の授業づくり」（岡山県総合教育センター）

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/274900.pdf>

■指導と評価の一体化

新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価



児童生徒に求められている資質・能力を確実に育成するためには、指導と評価の一体化を図ることが必要です。教師がねらいに応じて、授業における児童生徒の学びの姿を見取り、学習指導の改善に生かしていくことが大切です。この考え方は、今回の学習評価の改善の中で、これまで以上に重視されています。

本冊子は、新学習指導要領における学習評価の基本的な考え方や小・中学校の全教科等における評価の進め方等について、ポイントを絞ってまとめています。

「指導と評価の一体化」を実現して、児童生徒の資質・能力の確実な育成につなげていきましょう。

▼リンク

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価」（岡山県総合教育センター）
<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/274889.pdf>

■ 英語 4 技能をバランス良く育成しよう！

「中学校英語 4技能をバランスよく育成するために
授業改善のすすめ(リーフレット版)」



Listening

- ① 明確な目的をもって聞かせる
- ② 多くの英文を聞かせる

Speaking

- ① 基本的な語句や文の定着を図る
- ② 話す場を多く設定する

Reading

- ① 明確な目的をもって読ませる
- ② 多くの英文を読ませる

Writing

- ① 基本的な語句や文の定着を図る
- ② まとまりやつながりのある文を書かせる

生徒の英語に関わる4技能を測定する一つの指標であるGTEC<Core>を活用した結果から、その達成率(スコア)を大幅に伸ばした学校があります。4技能それぞれの力を伸ばした中学校の具体的な取組が数多く掲載されています。取組のPointもわかりやすく紹介しています。自分自身の授業をチェックできるリストもあるので是非、日々の授業実践の振り返りに活用してください！

▼リンク

「中学校英語 4技能をバランス良く育成するために 授業改善のすすめ」(県教育庁義務教育課)
<https://www.pref.okayama.jp/site/16/620482.html>

■鑑賞授業について学ぼう

「小学校図画工作科、中学校美術科、高等学校芸術科（美術・工芸）『鑑賞授業』はじめの一步」



鑑賞は、児童生徒が作品を制作する際の豊かな発想や構想に大きくつながっていきます。また、自分のつくりたいものへの思いや主題に近づけようと工夫したり、使う人の気持ちを考えたりしながら作品をつくり出すことは、鑑賞の見方や感じ方を深めることにもつながります。つまり、「表現」と「鑑賞」は、お互いに一体的に補い合って高まっていく活動なのです。

「鑑賞授業に関するアンケート」結果から、先生方が鑑賞授業に有効性を感じながらも、自信がもてず、鑑賞の授業に積極的に挑戦しきれていない状況が見えてきました。また、鑑賞に充てる時間をもっと取りたいと思っている先生方も多いようです。

鑑賞授業に積極的に取り組み、児童生徒のために効果的な鑑賞授業を展開できるよう、ぜひ本冊子をご活用ください。

▼リンク

「小学校図画工作科、中学校美術科、高等学校芸術科（美術・工芸）『鑑賞授業』はじめの一步」（岡山県総合教育センター）

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/274917.pdf>